

第30回 産業カウンセラー活動報告会

一般社団法人 日本産業カウンセラー協会 東京支部
支 部 長 向 田 正 裕
会 員 部 長 武 本 明 美

日時と会場

● 2017年11月25日(土) 13:30～18:00

(受付は13:00より開始)

※本講座は、
「みなし更新研修」
です。
5ポイント付与

● 日本産業カウンセラー協会 東京支部 代々木501教室(5階)

毎年恒例の東京支部主催「産業カウンセラー活動報告会」を開催します。

この報告会は、発表者の方々からカウンセリングについて日頃より学習・実践していることを報告いただき、参加者の皆さまとの交流の輪を広げながら相互研鑽を図ることを狙いとしています。

新しい気づきを体感できる場、また会員のアウトプットの貴重な場ともなっておりますので、是非ご参加ください。

今秋に養成講座を修了されたみなさまのご参加もお待ちしております。

☆ 参加には事前の申し込みが必要です。申込要領は末尾ページをご覧ください。

時間	発表者	テーマ
13:30-13:40		開会のごあいさつ
13:40-14:20	赤羽根 和恵さん	教育現場における産業カウンセラーの可能性Ⅱ ～ 留学生対応と社会人教育を通じて ～
14:25-14:55	小野崎 敦さん	就労支援に活かす臨床動作法 ～ からだ・感じ方・体験をキーワードに ～
15:10-15:50	岩脇 健一さん	平凡なサラリーマンがカウンセリング・ファームを運営する ～ 副業としてのカウンセラーは、 なぜ本業にも良い影響を与えるのか ～
15:55-16:25	長岩 佳子さん	女性センター・女性問題相談の現場から ～ DV被害者への理解と支援を中心として ～
16:35-17:15	グループ討議 1	(発表テーマ別振り返り・分科会)
17:20-18:00	グループ討議 2	(発表テーマ別振り返り・分科会)

《 発 表 要 旨 》

[発表 1] 13:40 – 14:20 (40分)

教育現場における産業カウンセラーの可能性Ⅱ ～ 留学生対応と社会人教育を通じて ～

赤羽根 和恵 さん

本活動報告は、学校教育の中の留学生対応と、求職者訓練、企業研修など社会人教育の仕事を通じての気づきと今後の課題などを、事例を交えてご報告させていただきます。

私は現在、大学で学部研究生（留学生）に経済学を教え、クラス担任をしています。多国籍の学生対応は、コミュニケーション能力と傾聴力が問われ、産業カウンセラーとキャリアコンサルタントの資格が生きていると実感しています。そこで前半に、近年のわが国の留学生の受け入れ状況と、現場の様子をご報告致します。

後半の内容は、社会人教育の講師として、キャリア相談員養成科でも理論と実技を教える機会を得ました。教える側になり、日々の自己研鑽とネットワーク作りが欠かせません。その状況などを具体的にご報告致します。

今後も国内外の社会・経済情勢の大きな変化に伴い、わが国の労働市場で求められることも多岐に渡ると思われます。その中で産業カウンセラーの資格を生かしながら、どのように働きいかに自己実現をしていくかを考える機会も増えるのではないのでしょうか。ぜひ皆様との情報交換と気づきを頂く場として、また、今後の活動を広げたい方へのヒントになるような報告となれば幸いです。

[発表 2] 14:25 – 14:55 (30分)

就労支援に活かす臨床動作法 ～ からだ・感じ方・体験をキーワードに ～

小野崎 敦 さん

臨床動作法は「からだ」を使った心理療法として、九州大学名誉教授、成瀬悟策先生が開発され、1960年代ごろから脳性マヒ児の肢体不自由の改善が注目され、徐々に適用分野が拡大し、近年は医療分野だけでなく、教育、健康、スポーツ、高齢者、災害等様々な分野に導入されています。

私は、産業カウンセリングにおいても、言語面接や認知行動療法ではない、クライアントへの新たなアプローチと成長・改善の方法としての可能性を見出し、約10年間、就労支援現場への導入を試み続けてまいりました。最近になり、ようやく導入への見立て、スキーム、期待される効果、といったことが形となってまいりました。

おそらく、未だ産業カウンセリング分野への導入事例はほとんどなく、当然、研究・事例報告もない中で、病院臨床やスクールカウンセリングの事例などを参考にしつつ、手探りで導入を進めてきましたので、まだまだ不完全さはありますが、初めて公に報告させていただきます。

今回は、1. 臨床動作法の理論、2. 就労支援における有効性、3. 導入事例についてご紹介していきます。

《 発 表 要 旨 》

[発表 3] 15:10－15:50 (40分)

平凡なサラリーマンがカウンセリング・ファームを経営する

～ 副業としてのカウンセラーは、なぜ本業にも良い影響を与えるのか ～

岩脇 健一 さん

「日本企業には、元気がない。」よくこのように言われます。日本企業の労働生産性はOECD主要国で最下位となっています。特にホワイトカラーでは、その傾向が顕著となっているようです。このような状況が現れてから、長い年月が経過していますが、一向に改善される様子が見られません。その原因はいったいどこにあるのでしょうか。

発表者は、5年前に産業カウンセラー資格を取得して、すぐ自宅にて開業しました。それも、東証一部上場のIT企業の人事部管理職として勤務してのことです。

以上を踏まえながら、最近注目されている、ロート製薬など副業を積極的に奨励する企業の動向について、「従業員に副業をさせることのメリットは何か？」に関して、大企業人事部管理職としての視点から見解を示したいと思います。

また、同じ副業でも、カウンセラーは、数多ある仕事の中でも、副業のメリットが多いことをも説明していきます。

会社員として働いておられる産業カウンセラーの方も多いと思いますが、皆さんと一緒に、我々は今後どのように職場やその他の集団内で立ち振る舞うことが求められるのか、その答えを探ってみたいと考えます。

[発表 4] 15:55－16:25 (30分)

女性センター・女性問題相談の現場から

～ DV被害者への理解と支援を中心として ～

長岩 佳子 さん

2013年に産業カウンセラー資格を取得後、中学校にて不登校生徒や中国からの入国生徒の対応、ひとり親家庭を対象とした電話相談を経て、今年4月より、在住している市の女性センターで、女性問題相談の相談員として勤務しています。

相談内容は、夫婦関係、貧困、子育て、介護、人間関係、相続、健康、自身の生き方に関するものなど多岐にわたり、これらがうつをはじめとする精神疾患や、パーソナリティに起因する生きづらさと絡み合っ解決が難しくなっているケースも数多く見られます。

DVに関する相談も多く、身体的暴力だけでなく、精神的・性的・経済的DVにまつわるものも散見しているのが現状です。DV被害を受け、傷つき困惑している相談者に、どのようにアプローチすれば自分主体の人生を取り戻すきっかけづくりができるかが、日々の相談援助の課題のひとつだと考えています。

女性問題相談の現状と対応、困難を抱えた相談者と接するうえで気をつけていることなどをお話しさせていただき、参加者の皆さまとの意見交換を通じて、今後の相談につながる気づきをいただければと思います。

[グループ討議 1] 16:35－17:15 (40分)

発表テーマ別振り返り・グループ別意見交換

[グループ討議 2] 17:20－18:00 (40分)

発表テーマ別振り返り・グループ別意見交換

* [グループ討議 1]でご参加頂いたグループとは別のグループにご参加ください。

《 参加申込書 》

◆申込方法：FAXまたはWEBからのお申し込みになります。

FAXの場合は、下段枠内に必要事項をご記入の上、本紙をFAXしてください。

☆WEB上でのお申し込み方法☆

東京支部HP (<https://www.counselor-tokyo.jp>) へアクセスし、
右上の検索窓に講座コード (KS-001) をいれて検索(🔍 マークを押下) していただき、
お申込み方法をご確認ください。

KS-001



◆申込締切：定員（100名）になり次第締め切らせていただきます。

◆参加費：会員・・・2,000円 一般・・・2,500円（消費税込）

*** 参加費は当日、受付にてお支払いください**

事前振込不要！
お気軽にお申込みください

◆お問合せ：一般社団法人日本産業カウンセラー協会 東京支部 会員部

[TEL:03-6434-9130](tel:03-6434-9130)(代)

◆アクセス：



* 駐車場はございませんので、
公共交通機関をご利用下さい。

- ・東京メトロ副都心線
北参道駅3番出口より徒歩1分
- ・J R 線・都営大江戸線
代々木駅より徒歩7分

第30回 産業カウンセラー活動報告会 FAX申込

日本産業カウンセラー協会東京支部 会員部 行

送信先 F A X 番号 **0 3 - 5 7 7 2 - 3 0 5 3**

フリガナ

氏 名

☐ 会員 NO.

☐ 非会員

日中連絡可能な電話番号、またはe-mailアドレス

電話番号

e-mail

* 定員を超えた場合のみ、ご連絡いたします。